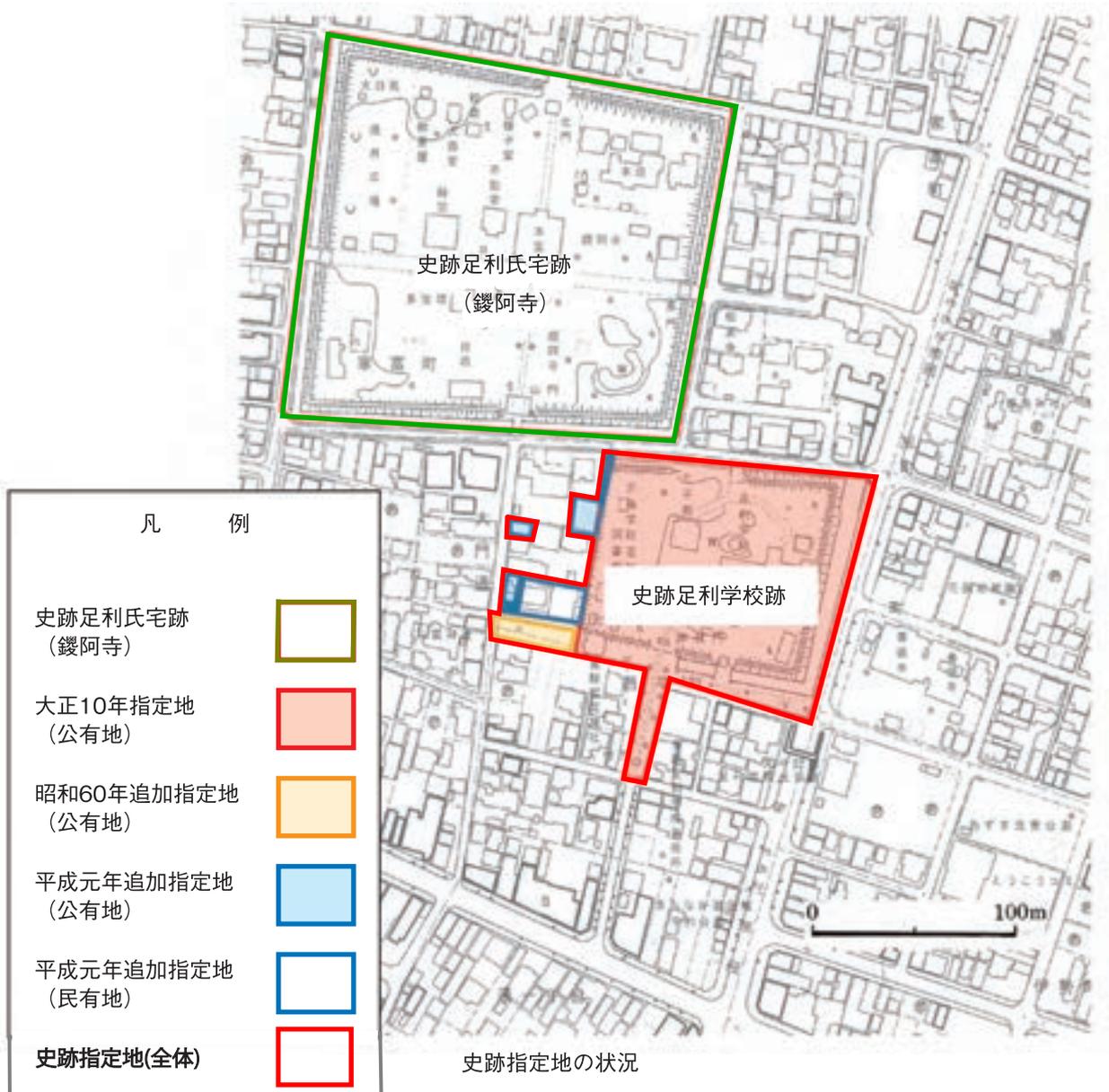


第2章 史跡の概要

2-1 指定に至る経緯

本史跡は史蹟名勝天然記念物保存法第1条に基づいて大正10(1921)年3月3日内務省告示第38号をもって史跡に指定された。この法律は大正8(1919)年4月10日に公布され、6月1日に施行されたもので、国が初めて指定した史跡のひとつである。それ以前に全国各地で行われた史蹟名勝天然記念物調査の結果、価値が認められ、選定されたものである。



2-2 指定の状況

(1) 指定告示

当初は、大正10(1921)年3月3日内務省告示第38号をもって足利市昌平町2338番1ほか8筆が指定された(資料6-1)。名称は足利学校跡(聖廟及び附属建物を含む)、文化財の種類は史跡である。その後、昭和60(1985)年6月24日に足利市大門通2370番2(資料6-2)が、さらに平成元(1989)年1月9日に足利市大門通2370番1ほか5筆(資料6-3)が追加指定されている。

(2) 指定説明文とその範囲、指定地の状況

指定時の説明文には「創建年代については王代国学の遺制とも小野篁の営む所とも伝ふれど確證なし室町時代に於ては文教の府として海内に重きを為し江戸時代に至るまで其の餘風を止めしものなり」とある。指定地は足利市昌平町2338番1ほか8筆で、面積は16,404㎡である(資料6-1)。

その後、足利市大門通2370番2の562.74㎡が昭和60(1985)年6月24日に追加指定された。さらに平成元(1989)年1月9日に足利市大門通2370番1ほか5筆、1,211.98㎡が追加指定された。

史跡指定された土地の合計面積は18,178.72㎡で、地図で示せば、別図のようである。



(3) 足利都市計画風致地区の指定

都市計画法(旧法)に基づき、昭和10(1935)年10月16日内務省告示第551号により、市の中心部にある史跡足利学校跡と史跡足利氏宅(鏝阿寺)を含む周辺が足利都市計画風致地区第1号足利史蹟風致地区に指定された(資料7)。その地積は、約10ヘクタールで、史跡足利学校跡と史跡足利氏宅(鏝阿寺)の史跡内とその史跡境界から外側20mの範囲が指定地域となる。さらに史跡足利学校跡については、足利学校さま通りとその境界から外側外側20mも含まれる。

2-3 西側隣接地の追加指定

(1) 西側隣接地追加指定の経緯

史跡足利学校跡西側隣接地の追加指定は、第1次保存整備事業開始頃の昭和58(1983)年、大門通2370番2の開発が計画されたことに端を発する。7階建てのビル建設が計画され、地域住民らによる反対運動がおこった。国、県、市、所有者並びに地域住民話し合いのもと、史跡足利学校跡に関連する遺構がある可能性が高いことから、対象地を追加指定し、国庫補助事業で市が買い上げることで合意。昭和61(1986)年に買収がなされた。その後、足利市教育委員会は足利学校西側隣接地の当該地北側、鏝阿寺にかけての区域を追加指定していくことで、住民に対して説明会を実施、同意を求めた。

昭和63(1988)年度には大門通2370番3並びに4の住宅建築に伴う立ち合い調査を行い、足利学校の西側堀跡に関する遺構を確認した。そして、平成元(1989)年には当該地の追加指定がなされた。同時に大門通2370番1、2371番2、3さらには2372番2、3が追加指定され、その後、これらの土地の一部が公有化された。これら買収が完了した土地は、ポケットパーク等の緑豊かな場所として利用されている。

(2) 蔵を残して買収を実施

平成元(1989)年、追加指定された大門通2370番1は、大日大門通りに面し、敷地内に江戸時代後期建立の蔵が建っていた。当初、教育委員会は、国庫補助事業による更地買いを目指していた。しかしながら、地域住民から歴史的な景観にふさわしい蔵の保存と活用に対する強い要望があり、市単独事業として土地を買収し、蔵は保存して活用することとなった。この蔵は、「茂右エ門蔵^{もえもんぐら}」と呼ばれて親しまれ、地域住民を主体に構成される「いしだたみの会」によって運営され、ギャラリーやチャレンジショップ等として活用されている。地域住民が主導となって歴史的建造物の保存と活用を先進的に実践した事例として高く評価できる。足利学校西側隣接地には、このほかにも古い蔵や写真館など映画ロケにも使用される歴史性を感じさせる建物が数多く遺されている。



茂右エ門蔵



チャレンジショップの状況



松村写真館



古い蔵の残る民家

2-4 西側隣接地の発掘調査

(1) 西側の堀と土塁について

平成23～25年度にかけて史跡足利学校跡西側隣接地において民間開発の動きがあったことを契機に、史跡の範囲及び内容を確認するための発掘調査が行われた。現在の西側土塁については、大正元(1912)年11月19日の足利学校管理委員会日誌には以下のように記されている。

一、遺跡西方土堤改築ノ件

西方土堤ハ敷地西端ニ改築スル事及高九尺馬踏三尺敷廿一尺長四十八間トシ工費金式百式拾式円ヲ
要スルモ止ムヲ得ザルモノトシ承認ス

つまり、もともと堀があった西端に土塁を改築すること、土塁は高さ9尺(約2.7m)、上幅3尺(約0.9m)、下幅21尺(約6.36m)、長さ48間(86.4m)として、工賃が222円かかるが、やむを得ないものとして承認されたのである。足利学校の敷地内では、これを裏付けるかのように、収蔵庫の南北に旧土塁残痕と思われる高まりが遺されている。

発掘調査は西側土塁を断ち割るトレンチ(1B地点)、土塁西側の敷地(1A地点)さらには土塁南西端部の外側(2A地点)で行った。その結果、管理委員会日誌を裏付けるように現在の土塁の下に西堀跡が確認された。

西堀跡は、3時期の変遷があった。第1期は、中世～江戸中期(宝暦～寛政3年頃)で、堀幅8.2～9.1m、深さ1.9～2.3m、第2期は、江戸中期～江戸後期(文政10～文久2年頃)で、堀幅7.1～7.4m、深さ1.8～2.1m、第3期は、江戸時代後期～大正元年で堀幅4～5.6m、深さ1.4～1.6mである。つまり、堀幅が狭くなり深さは浅くなるという変遷が明らかとなった。最も広い第1期の堀西端の位置は、現在南北に通る側溝西端から北側で約1m、南側で約2m西側にあることが確認された。また、堀の東側に土塁跡が確認された。

これらの調査成果から、西堀にかかる民有地は足利学校側から幅1～2m程度の範囲であることが明らかとなった。



管理委員会日誌



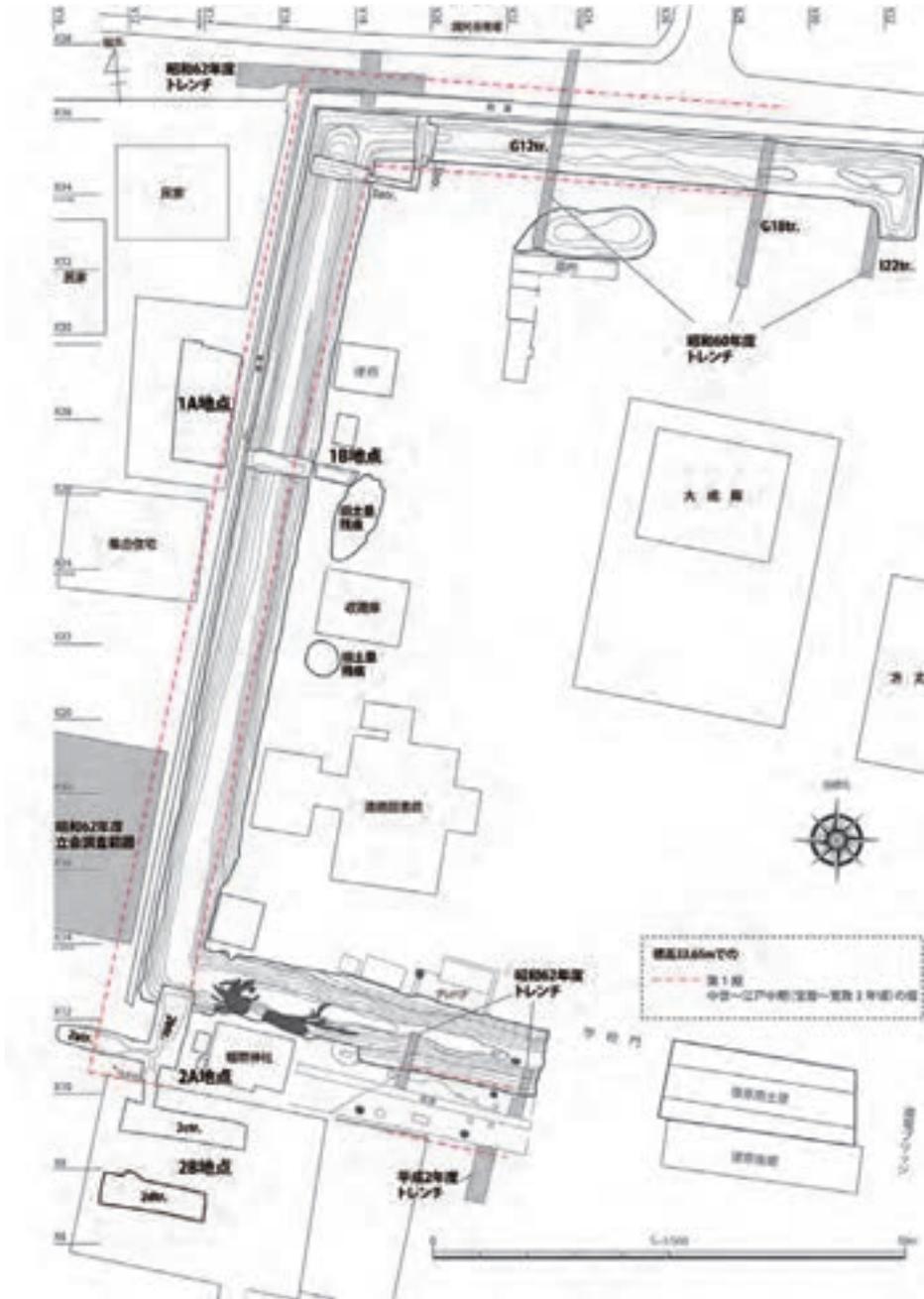
旧土塁残痕と思われる高まり



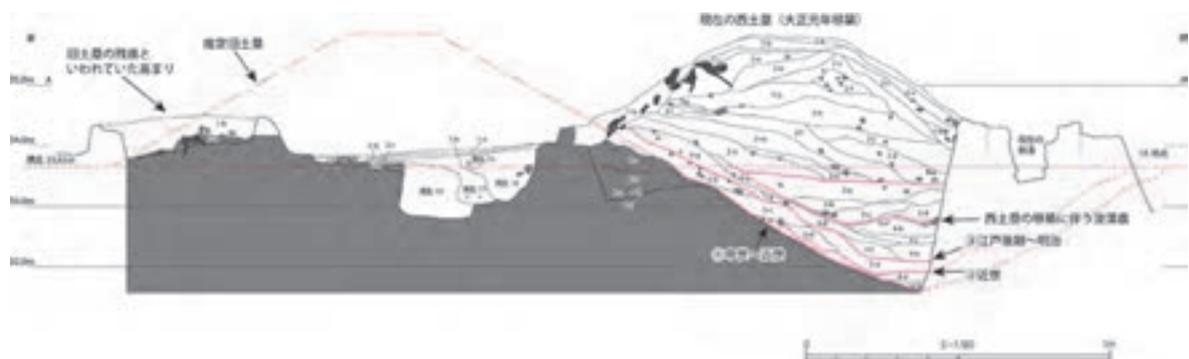
1B地点堀跡確認状況



3a地点堀跡確認状況



西側の堀と土塁の確認のための発掘調査地平面図



1B地点断面図

(2) 南側、学校門西の堀と土塁について

学校門西側の土塁は、現存する土塁の中で最も旧状に近く、江戸時代の姿を留めるものである。昭和62(1987)年の発掘調査で土塁南端、平成2(1990)年の発掘調査で南堀南端を確認、さらに現稲荷社西側のトレンチ(2A地点)で堀南西隅を確認した。これによると堀幅は約7.2m、4間程で、「境内坪数並諸建利物絵図」に描かれたとおりの規模であることが確認された。南堀を埋立てた場所には、現在、移築された稲荷社が建っている。



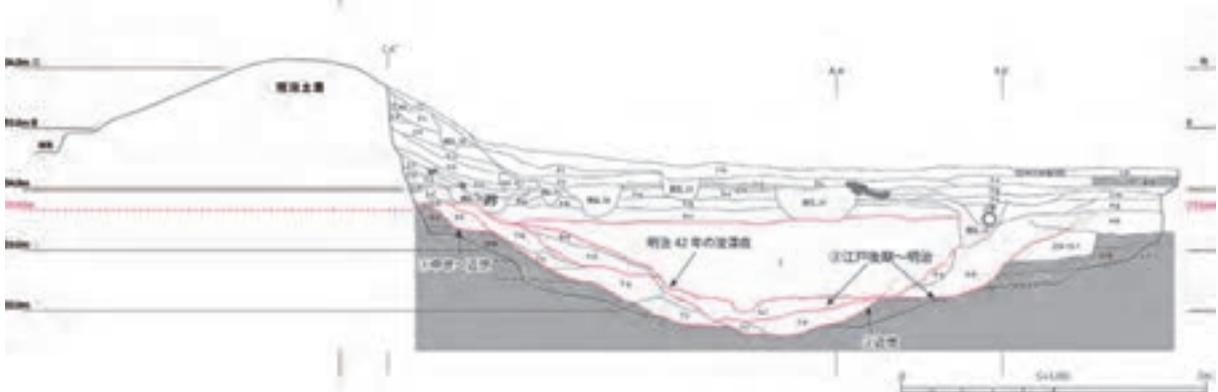
学校門西側の南土塁



南堀を埋め立てた場所に移築された稲荷社



南堀跡の確認状況



2A地点南堀跡断面図

2-5 西側隣接地のその後

西側隣接地の取り扱いについては、追加指定開始当初、足利市教育委員会は、史跡としての保護を最優先し、歴史的建造物の保存活用という視点が欠けていた。そのためすべての区域を追加指定して更地買いを目指していた。それに対し、地域住民は、茂右エ門蔵の保存活用運動当初から、地域に遺る歴史的な建造物を住民自らが活用して史跡(足利学校や鑿阿寺)と共存するという考え方を持っていた。当該地域西側は、鑿阿寺へ続く大門通りに面しており、現在遺る歴史的な建造



リノベーションされた古民家

物を店舗等で有効に活用する例も増えている。また、二世帯住宅の建設や古民家のリノベーション、修景補助制度を活用した店舗改装などが行われ、歴史的風致に優れた当地域に住み続けることを希望する住民も多い。

2-6 史跡以外の指定文化財（書跡、民俗文化財等）

足利学校は、中世以来貴重な書籍を守り、伝えてきた文庫でもある。これら書籍の保存と活用も重要である。現在、足利学校事務所が管理している指定文化財は、国指定10件(うち国宝4件)、県指定2件、市指定15件の合計27件がある(資料8)。



国宝の書籍



孔子坐像（栃木県指定文化財）

2-7 周辺史跡並びに歴史的風致との関係

史跡足利学校跡が所在する市街地中央部は、近くに史跡足利氏宅跡(鏝阿寺)があるなど、本市を代表する文化財の宝庫である。本市では、この二つの史跡を結ぶ大門通りや足利学校さま通りなどを歴史的風致とするため、「歴史的地区環境整備街路事業」として、昭和55(1980)年から平成2(1990)年にかけて総事業費約5億5千万円かけて石畳道に整備してきた。これら通りの両側には、かつて織物のまちとして繁栄した時代の古民家や蔵が点々と遺されている。このうち、松村家住宅等重要な建造物については登録有形文化財に登録して保護すると共に、通り沿いの民家等を改修する時には修景補助制度を適用し、歴史的風致の形成を進めてきた。また、映像のまち事業を推進する中で、ロケ地としても活用されている。



松村家住宅



修景補助制度を活用した店舗